A 試合会場レポート

試合番号 012　　開催日 2020/12/13

令和2年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 女子 ファイナルラウンド　　会場： 武蔵野の森総合スポーツプラザ

観客数： 0	開始時間： 15:00	終了時間： 16:17	試合時間： 01:17	主審： 北村　友香	副審： 吉岡　奈々

東レアローズ

監　督：越谷 章
コーチ：高杉 洋平

通　算：－ 勝　－ 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ：　－

岡山シーガルズ

監　督：河本 昭義
コーチ：吉田 啓佑

通　算：－ 勝　－ 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ：　－

3	25	第1セット【 00:24 】	18
	25	第2セット【 00:21 】	16
	25	第3セット【 00:26 】	22
		第4セット【　　】	
		第5セット【　　】	
0			

ポイント　－　　【】内はセット時間　　ポイント　－

（）内は交代選手

第1セット

25	小川	クラン	長瀬	金田（西村）
	関	黒後	渡邊（宮下(遥)）	宇賀神（古川）
	石川	大野（中田）	吉岡	川島
18				

リベロ：水杉　　リベロ：楢崎　丸山

第2セット

25	クラン	黒後（白井）	川島	金田（西村）
	小川	大野	渡邊（宮下(遥)）	宇賀神（吉岡）
	関（野呂）	石川	古川	長瀬
16				

リベロ：水杉　　リベロ：丸山

第3セット

25	小川	クラン	宮下(遥)	金田（西村）
	関（野呂）	黒後（白井）	長瀬	居村（川島）
	石川	大野（大崎）	古川	高柳(有)（渡邊）
22				

リベロ：水杉　　リベロ：丸山

第4セット

リベロ：　　リベロ：

第5セット

リベロ：　　リベロ：

＜監督コメント＞

今日の試合は、序盤からサーブを攻めて良い形で入ることができました。とにかく自分達のリズムで試合を進めるために、全員でコミュニケーションをとっていく事を大切に試合を進めました。

３セット目は相手に先行される苦しい展開となりましたが、チーム全員で力を合わせ粘り強く勝利に結びつける事ができました。

来週の決勝戦でもチーム全員でしっかりと準備して試合に臨みたいと思います。

本日はありがとうございました。

＜監督コメント＞

今大会、若手選手達がよく頑張ってくれた。ベテラン選手達の要所要所でチームを盛り立てるプレーが今一歩足りなかった。

年明けのリーグ再開に向けいい経験ができ、収穫の多い大会でした。

リモートで応援して下さった皆様、ありがとうございました。

年明けからも皆様の思いと共に頑張っていきますのでよろしくお願いします。

＜要約レポート＞

現在Vリーグでも絶好調の東レアローズに対し、昨日久光製薬を３－２で下し波に乗る岡山シーガルズの戦い。

第１セット、岡山の司令塔宇賀神は長瀬、古川を使い東レを翻弄する。それに対し東レは関の巧みなトスワークで黒後、クランで岡山を攻めた。序盤から東レが主導権を握った。中盤からセッターを岡山は宮下に代え流れを変えようとしたが、その溝は埋まることなく東レがこのセットを手に入れた。

第２セット、序盤岡山の金田、古川の活躍によりリードを奪った。しかし、東レも黒後、石川の鋭いアタックなどで反撃し中盤リードを奪った。それに対し岡山はセッターを宮下に代えリズムを掴もうとするが、波に乗る東レを止めることが出来ず、このセットも東レが手に入れることになった。

第３セット、後のない岡山はスタートダッシュに成功した。その後も序盤はこのリードを保つことが出来た。しかし、中盤に入り東レは白井、野呂を投入し追いつくことに成功した。その後一進一退を繰り返したが、最後は東レ石川の鋭いアタックが決まり、東レが勝利を手に入れた。

作成者：柴田　等

※本票の著作権は、公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。